



ロータリー：  
変化をもたらす

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



# 会報

2017 ▶ 2018  
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ  
会長目標

親睦と奉仕で作る友の輪

会長／森 幹雄 幹事／阿部 洋一

## プログラム

●本日

来賓卓話「ジャンプのお話」

平昌五輪スキージャンプ日本代表

伊藤 有希 選手

●次週予定

ー法定休会ー

会員誕生日

角 隆 巨  
西 原 正 幸

配偶者誕生日

燕 昌 克  
松 村 香 里

No. 2777

第30回 4月4日

出席報告

前  
例  
会

会員総数……………35名  
出免会員……………4名  
出免出席……………3名  
基準会員出席…………19名  
出席率……………64. 71%

前  
々  
会

第27回 3月7日

欠席会員……………15名  
内メイクアップ…………8名  
修正出席率……………80. 00%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



## 会長報告……………

1. 先日、財界さっぽろの取材を受けまして、クラブより渡部会員、関野会員、阿部幹事として私の4名で取材の対応をさせていただきました。財界さっぽろの発売日は4月15日となっていますので、皆様それぞれで予約していただければと思います。
2. 4月4日、轡田ガバナー補佐と新谷深川クラブ会長、渋谷IM実行委員長がクラブを公式訪問されます。
3. 4月4日の例会は平昌オリンピック代表の伊藤有希さんの来賓卓話です。ぜひ多くの会員の出席をお願いします。



## 幹事報告……………

- 先ほど会長報告にもありましたが、深川で開催されますIMの案内が届いております。回覧いたします。
- ロータリーリーダーシップ研究会より体験セミナー開催の案内が届いています。6月9日に札幌コンベンションセンターで開催されます。回覧いたします。
- 3月29日午後6時30分より産業会館にて、第10回定例理事会を開催いたします。関係者はよろしくお願いします。



## 委員会報告 .....

次年度理事会 堀 次年度幹事

以前に次年度の委員会構成を配りましたが、この度北電の中井会員が転勤する事になりました。広報クラブ会報委員長を変更する事になりました。新しい委員長さんは西原会員さんをお願いいたします。

## ニコニコBOX .....

- 本日の情報集会担当の櫛井会員研修委員長、高田委員、本日ご出席の会員の皆様、よろしくをお願いします。 森(幹)会長
- 3月20日に被選理事会並びに被選クラブ協議会を開催しました。ご参加された方、ご苦労様でした。 堀会員
- 娘に少し良い事がありました。 鈴木会員
- 少し良い事がありました。 関野会員

前 回	709,079円
今 回	9,000円
累 計	718,079円

## プログラム .....

= 情報集会 = テーマ「クラブ細則について」

### 〈第1班〉

テーブルリーダー	渡邊 裕久 会員
サブリーダー	青山 貴幸 会員
渡部 英次 会員、鈴木 康伸 会員	
中出 敏彦 会員、森 幹雄 会員	
宮尾幸之助 会員、福士 幸子 会員	
阿部 洋一 会員、松村 泰年 会員	
関野 紘史 会員、松岡 賢一 会員	

### 〈第2班〉

テーブルリーダー	高田 潔 会員
サブリーダー	菅 保堂 会員
二ノ宮清信 会員、山本 譲二 会員	
西谷 英樹 会員、角 隆巨 会員	
佐々木 繁 会員、燕 美雪 会員	
堀 光輝 会員、田中 卓 会員	
櫛井 俊介 会員、中井 祐史 会員	



### 〈第3班〉

テーブルリーダー	森 俊二 会員
サブリーダー	武田 佳彦 会員
佐藤 潔 会員、對馬 健一 会員	
大嶋 孝弘 会員、串橋 伸幸 会員	
高橋 理佳 会員、辻本 哲也 会員	
鶴城 善輝 会員、森 将由生 会員	
西原 正幸 会員、照井 満 会員	

### 【情報集会開催主旨】

- クラブ定款を基につくられている細則ですが、現在のクラブの現状から実践出来ない事がある。
- 新会員をはじめ、普段細則などを読むことのないメンバーにぜひ読んでいただきたい。
- 良い悪いではなく、全員で細則の確認と現状を把握する機会にしたい。

### 【定款細則における矛盾点、問題点等の抜粋】

1. ロータリーは5大奉仕を基本に委員会構成をしているが、第8条において「新世代奉仕」となっているものは、現在「青少年奉仕」と明記され、活動計画書においても表記がバラバラである。
2. 第9条1節において、基本的に各委員3年務めるとあるが難しい状況である。
3. 第9条1節において、常任委員会の設置があるが、定款13条7節にある有すべき委員会との整合性が取れていない。(定款第13条6節が無い。7節に※とあるが、何が※(特記)の説明がどこにもない)

4. 第9条2節(d)において、会員研修委員会は特に3年という記載があるが、実践されていない。
5. 第11条2節(1)において、職業分類わけは毎年増強委員会が精査するとあるが、実践されていない。
6. 第14条5節において、被推薦者に対しての異議申し立てに関して7日以内とあるが、何から数えて7日なのか明記が無く不透明である。
7. 第14条6節において、新会員の世話人の専任とあるが、実践されていない。

などです。

上記以外にもお気づきの点が多々あると思いますが、会員皆様で大いに意見を出し合っていたら幸いです。



# CLUB INNOVATION

山口県  
岩国RC 会員数：66人

新会員 2017-18年度：8人  
2016-17年度：7人  
2015-16年度：5人



## 沿革：

1959年創立。地元の岩国高校のキャリアセミナーに、会員を含む講師を毎年十数人、派遣しています。また、岩国市出身の著名な数学者で、当クラブの名誉会員でもある広中平祐先生の中学生向け「創才セミナー」の運営に協力（写真上）。社会奉仕活動としては、東日本大震災の復興支援として、トラクターを寄贈し、植林活動にも協力しました（写真下）。

2016 - 17年度に上田文雄さんがクラブ会長になった時の課題として、会員増強と、高齢化によるクラブの活力の低下がありました。会員は、年度のスタート時61人、平均年齢は過去5年間で3歳上昇し、63歳。最年少は47歳で、過去5年間、若い会員の入会はありませんでした。

以前から若い会員の増強に努めてはいたものの、同年代の人がいないという理由から、元会員の後継者も他クラブに入ることになった状況でした。

上田会長は、若い人をまず一人でも入会してもらい、それを突破口として会員の後継者が入りやすい仕組みをつくるのが重要だと考えました。このためには一つの企業から2人同時に入会している場合、会費の負担を抑える必要があります。そこで、クラブ細則を変更し、家族会員と企業会員の2つの会員身分を新設することをクラブに提案しました。

家族会員は、家族内の後継者が入会する場合で、食費と国際ロータリーの人頭分担当

金など必要経費に相当する正会員の80%の会費で入会できます。企業会員は、出席免除対象の会員とその後継者で、同時に例会に出席することがほぼないと考える場合、あるいは、例えば工場長と副工場長



第2710地区・地区大会事例発表から

## 会員の後継者を勧誘

### イノベーション：

クラブでは、会員の高齢化に伴うクラブの活力の低下が課題でした。若い会員を入れようにも同世代の会員がいないことがネックとなり、結果、増強はうまくいきませんでした。そこで、クラブの細則で会員身分を変更し、会員の後継者が入りやすい家族会員と企業会員を新たに設けました。

が交代で出る場合を想定し、1人分の食費分を除いた2人分の会費が正会員の150%で済むというものです。企業会員が2人同時に例会に出る場合は、1人分のビジターフィーを払ってもらうことになります。

すると、会員から「後継者を入れる負担が軽減されてよい」との賛同を得、2016年12月のクラブ総会で細則を変更。若い人の会員増強に取り組みました。

上田会長が、ある若い経営者に「四つのテスト」や、職業奉仕について分かりやすく説明、ロータリーに入会し経営者として成長しよう、と声を掛けました。会員の後継者で家族会員として入会を予定していた若い会員がいたため、そのことも付け加えると、「その人なら知っている」とすぐにその若手経営者は入会を決意。彼は入会后、自分と同世代の友人を誘ってくれました。これを機に、会員の後継者、元会員の後継者などが入会し、2017年9月末までの9カ月間に34～44歳の6人の会員が入会、平均年齢も2歳若返り、活気が出てきました。また、会員数も今年度になって6人純増。今後は家族会員の入会が数人見込まれています。

新しく入会した坂井幸栄さんは、「ロータリークラブは、年配の経営者や病院の先生が集まって、単にボランティア活動をする会だと思っていました。しかし説明を聞くと、それだけではなく、自己を磨き経営者としても成長できると教えてもらいました。入会した時、先輩から優しく声を掛けてもらい、とても居心地が良かったことが印象に残っています。これからロータリアンとして、活動に積極的に携わっていかうと思います」と語ります。

「高齢化に伴う活力の低下や、若い人が少ないことが会員増強の障害になっている、という課題を抱えているクラブは多いと思います。若手経営者はどのように経営したらよいか悩みつづ、経営者として成長することを望んでいます。ロータリーを後継者育成の場として、親子で同時に入会することが一般的になり、企業も、ロータリーも発展できるようになればと思います」と上田さんは語ります。

あなたのクラブはどのような革新的な取り組みを図っていますか？

hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。